

PREMIERE VISION AWARD 「HANDLE PRIZE 2009」受賞

株式会社ショーワ

2009年9月パリで開催された PREMIERE VISION にて、ショーワの<WOG210>が HANDLE PRIZE 2009 を受賞しました。世界中からの出展社(約700社)が提出した布(約10万点)の中から、最終選考に62点がノミネートされ、メゾンのトップデザイナーの審査の結果、4つの賞の一つに選ばれました。

<WOG210>は、大正紡績様のタスマニア・メリノ・ファイン・オーガニック・ウールを100%使い、世界でショーワにしか出来ない獣毛のインディゴ染を行い、デニムライクな素材に仕上げたものです。3年間農薬等を使用していないオーガニック認定の牧場で育てられた羊から、人肌にチクチクしないファインの細かい繊維だけを使用し、ウォッシュャブルになるよう加工を施し、と



でも上品なムラ形状の糸に仕上げています。そしてショーワにて、特殊技術のインディゴ染めと、繊細に管理された準備工程、熟練した職人技の織布を行い、細心の注意を払いながら加工上げた最高水準の布です。

3年がかりで開発された WOG シリーズの良さが、

Véronique Nichanian (Hermès)、Fabrizio Flaccomio (Prada)、Nicolas Lepoutre (Louis Vuitton)、栗野宏文 (United Arrows) (敬称略)ら審査員により、最後は目隠しまでして感触でナンバー1であると選考されました。トップデザイナーの



手先の感覚には敬意を表するばかりです。

服を着る満足と喜びの為に、材料の繊維からこだわりを持ち、細く長い繊維は耐久性と肌触りの良さを実感でき、永く愛用することで本当の意味での地球環境保護を実現する。そのコンセプトが世界中の全人類に共感してもらえるように、今後ともご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。



Véronique Nichanian (Hermès) 審査委員長発表の受賞理由

触覚と視覚の驚きをもたらす 100%ウールのインディゴ。触れると柔軟に形を変えてバネのように元の姿に戻る驚きの感触、クリアな表面感にニュアンスを加える色使い。この製品はデニムをきわめて現代的な新境地へと導き、新たなスーツ生地としての可能性を拓く。